市川南中学校学校通信

南翔

令和6年9月24日

主体的に学び，よく考える生徒
自主的に行動し，感性豊かな生徒
心身の健康と安全に努める生徒

文:校長　志村　征俊

第58回南翔祭『はじけろ青春　仲間との思い出』

９月１４日（土）市川南中学校学園祭「第５８回南翔祭」を開催しました。
当日は、天候にも恵まれ、ご来賓の皆様、保護者・ご家族の皆様、地域の皆様、多くの方にお越しいただき盛大に開催することができました。
「はじけろ青春　仲間との思い出」をテーマに、実行委員会が中心となり、各学年、各部門、縦割りの中で生徒一人一人がいくつもの役割を担い、責任を持って取り組んできました。
この南翔祭を通して、生徒会の目指す「一人一人が高みを目指し進歩していけるような学校」にまた一歩近づけたのではないかと思います。生徒・職員が一丸となって取り組んだ様子を紹介します。

開祭式・学芸・展示の部

午前中は学芸・展示の部が行われました。オープニングセレモニー・開祭式を終えると、いよいよ１・２年生による劇「鬼平あらわる」と、合唱「大切なもの」の発表でした。初めての南翔祭でとっても緊張していた１年生。それでも、練習の成果を十分に発揮して素晴らしい演技を披露してくれました。正義をテーマにした内容で、今の私たちの生活について考えさせられる内容でありながらも、鬼平の登場によってクスッと笑える場面もあり、楽しみながら観ることができました。その後の合唱「大切なもの」も生徒と職員が一緒になってハーモニーを創りあげていました。講評の村松様のお話にもありましたが、鬼平と不良が一緒に合唱をする場面がとっても印象的でした。

１・２年生の発表に続いて、中学校生活最後の南翔祭となる３年生の発表。劇「夏休み」、合唱「水平線」です。戦争をテーマにした劇では、個性的な役柄を一人一人がとても上手に演じていました。観ている側がお話に引き込まれ、戦争の悲惨さや平和の大切さを考えさせられる素晴らしい発表で、「さすが３年生！」という圧巻のステージでした。普段から仲間を思いやる３年生の姿が劇中の登場人物にも反映されており、感慨もひとしおでした。合唱「水平線」も練習を重ねるごとに美しいハーモニー響くようになり、当日は力強さも加わった素晴らしい発表となりました。

午前の部の最後の発表は全校合唱「虹」１学期から生徒・職員が一緒になって取り組んできた合唱はいかがだったでしょうか。お寄せいただいたアンケートでは好評価をいただきましたが、私も歌うことに精一杯でした…。すみません。

体育の部・閉祭式

午後からの体育の部では、赤青に分かれて４種目の競技を行いました。生徒たちのどの競技にも全力で取り組む姿がとても印象的でした。勝敗のみにこだわらず、楽しみながら競技する姿が見られたことも嬉しく思いました。競技の中でも、保護者・地域の皆様にもご参加いただいた「綱引き」はとても盛り上がりました。ご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。
閉祭式では、これまで取り組んできたことを振り返り生徒の代表が想いを発表しました。その後、閉祭宣言とともに花火を打ち上げ、第５８回南翔祭は大成功の内に幕を閉じました。

南翔祭スナップ集